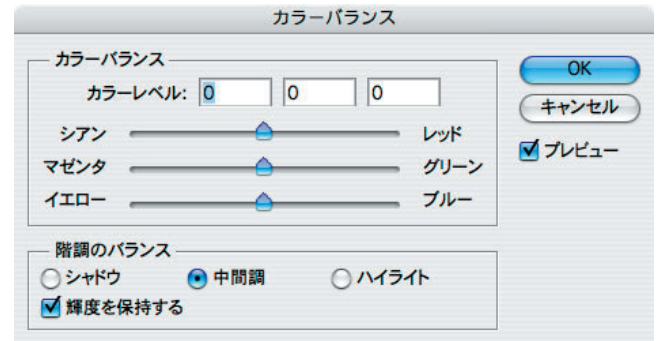
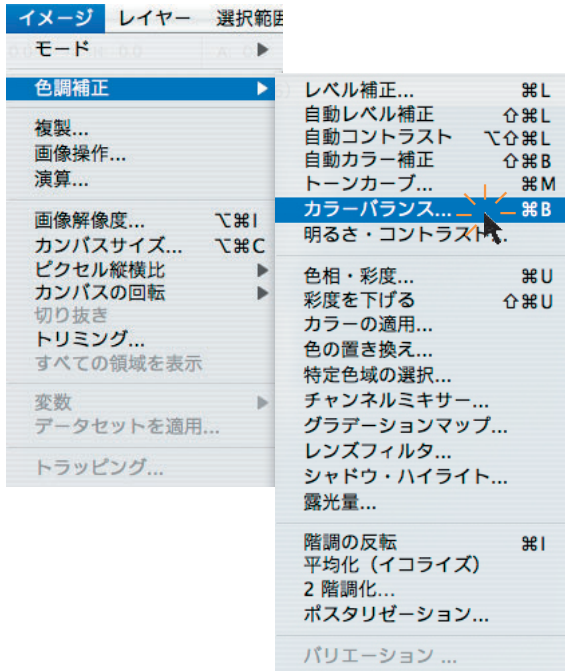


5-13 色の調整（カラーバランス）

Photoshopでは、レベル補正とトーンカーブの他にも色を調整するさまざまな機能がある。ここでは、その1つ「カラーバランス」を紹介する。

「カラーバランス」の設定画面を表示する



②「カラーバランス」の設定画面が表示される。

①メニューバーから [イメージ] → [色調補正] → [カラーバランス] をクリックする。

カラーバランスでは、インクと光の三原色が

シアン ⇔ レッド
マゼンタ ⇔ グリーン
イエロー ⇔ ブルー

という形になっており、スライダを左右に移動させると、スライダを近づけた側の色合いが強くなる。

シアン（水色：C）とレッド（赤：R）、マゼンタ（赤紫：M）とグリーン（緑：G）、イエロー（黄：Y）とブルー（青：B）は、本文の第3章で説明したようにそれぞれ補色の関係だ。シアンを強めればレッドが弱まり、イエローを弱めればブルーが強くなる——といった感じである。

調整できる階調の範囲は「シャドウ・中間調・ハイライト」の3領域に分かれており、オプションボタンをクリックして選択する。これにより、シャドウ部のレッドを強く、中間調はイエローを強め……などと複雑な調整ができる。

ただし、シャドウでレッドを強め、中間調ではその補色であるシアンを強める……といったように、1つの画像内で補色——互いに逆の要素を持つ色を強めると、色合いがバラバラで不自然になってしまう。また、カラーバランスでは「シャドウとはどこからどこまでなのか?」といった濃度の基準がユーザーには分からないため、あまり厳密な調整はできない。あくまで、大雑把な調整にとどめておくべきだ。